

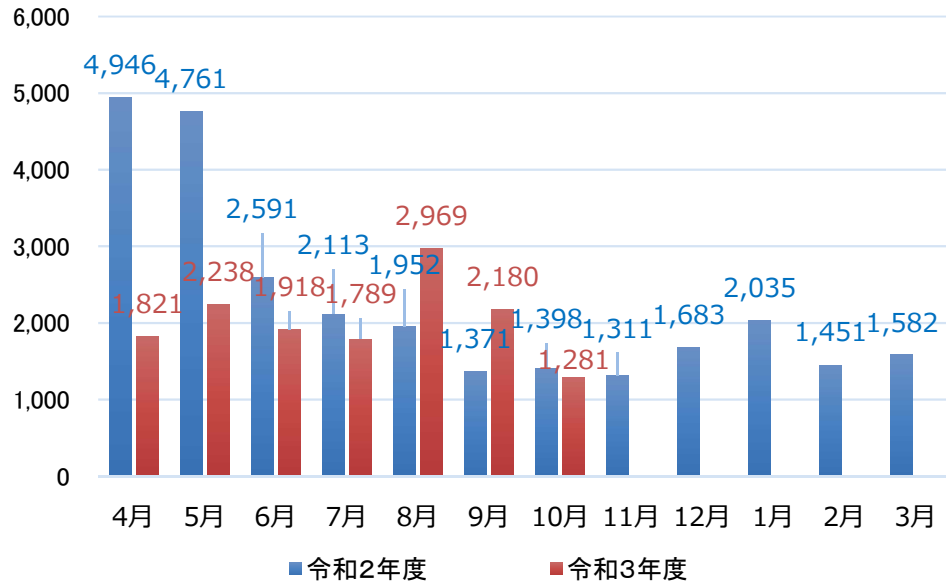
新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談に関する精神保健福祉センターの対応状況

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談について、令和3年10月に精神保健福祉センターで電話相談を受けた件数及び内容は以下のとおり。

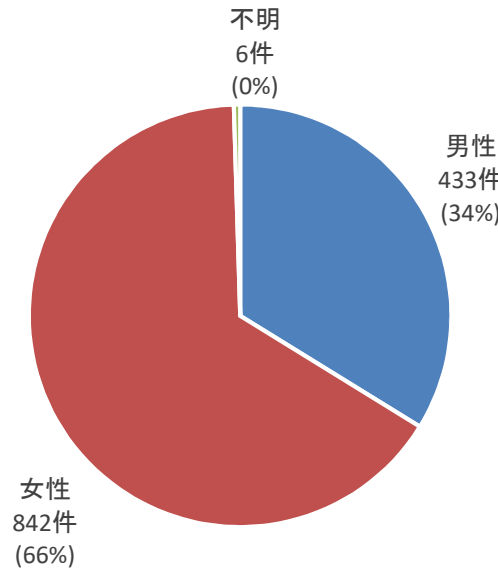
【相談件数】

○都道府県・政令指定都市の精神保健福祉センター（69箇所）での相談件数 1,281件（前月比 ▲899件）

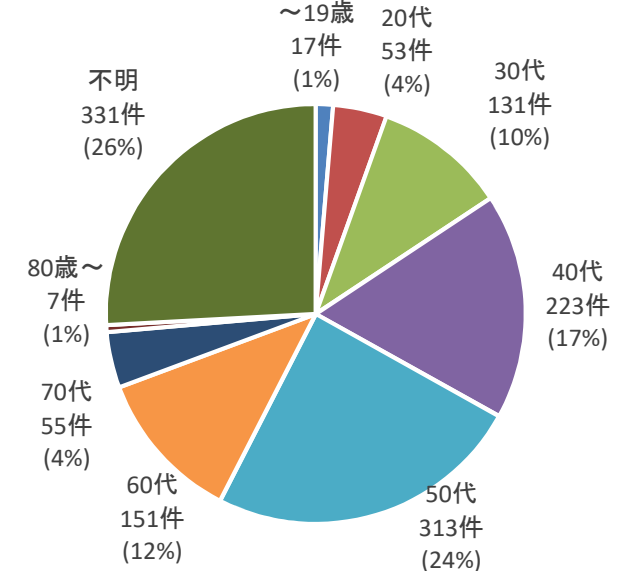
＜令和2年4月～令和3年10月の件数推移＞



＜10月男女別件数・割合＞



＜10月年齢別件数・割合＞



※四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

【主な相談内容】

- ・ 感染に対する不安
- ・ 不安で精神症状が悪化、不眠
- ・ 外出自粛、行動制限等に対するストレス
- ・ 失業や収入減少による生活の不安
- ・ 家族関係、人間関係に関する悩み、不安
- ・ 第6波（感染再拡大）に対する不安
- ・ ワクチン接種、副反応に対する不安、未接種に対する差別等への不安
- ・ 家族、他者のワクチン接種への考え方の違いに対するストレス
- ・ 感染に関連した差別、偏見、誹謗中傷等に対するストレス、不安
- ・ 罹患者（自宅、宿泊療養者等）、後遺症のある回復者、濃厚接触者等の精神状況の悪化

※相談を受けた結果、治療が必要な方については医療機関に、生活困窮の相談や職場に関する相談などについては、関係の相談窓口につなぐ対応を実施。
 ※令和2年2月7日～令和2年3月31日までの相談件数は、1,742件